

●農林水産大臣賞

ビスターリマーム

(岐阜県 郡上市)

さとやま
里山まんま

◇活動の経緯、内容の紹介

ビスターリマームは、平成12年、郡上市の明宝^{めいほう}地域で民宿を営む女将たち11人が、地域にスキー場がオープンしたことを契機に、食事やサービス内容の見直しなど共通の課題を解決するために結成したグループである。

地域の食材を最大限に活用し、客層に合わせた食事メニューの開発を行ってきた一方で、高速道路の開通とともに日帰り客が増加したため、近年では滞在型の周年観光を目指して、地域内の各種体験交流団体との連携によるグリーンツーリズムの取り組みにも力を入れている。



地域住民を巻き込んで行っている「春の山菜取りツアー」や市主催のイベントなどでは、「里山まんま弁当」の提供のほか、体験案内インストラクターの役割を担い、また「郡上八幡山と川の学校」が主催する「長期滞在冒険キッズめいほう河童村」では、子どもたちに宿泊や収穫、料理体験等を提供している。

「ビスターリ」とは「のんびり」といった意味のネパール語で、のんびり自然とふれあいたいと願う来訪者に、楽しい里山体験を提供するという思いから名付けられた。ビスターリマームは、食を通じてそれを実現しているグループである。

◇代表作品の紹介

里山まんま：

「里山まんま」とは、明宝地域の歴史・文化・自然の中で育まれた郷土食を取り入れた、ビスターリマームによる創作メニューの総称である。

イベント等でグループが提供する「里山まんま」(弁当)は年間3,000食以上を数え、また各民宿でも独自にアレンジした「里山まんま」(会席)を提供している。「菓子椀」や「つぎ汁」など、いずれも高齢者への聞き取りをもとに地域の伝統・行事食を再現したメニューである。



※各紹介文は事務局によるものです。